

防衛省の令和 8 年度宇宙関連概算要求

令和 7 年 9 月
防 衛 省

防衛省の令和 8 年度宇宙関連予算の概算要求について

- 経済・社会活動にとって不可欠な宇宙空間の安全かつ安定した利用等を確保するため、宇宙の安全保障の分野での対応能力を強化することが必要。
- この観点から、「防衛力整備計画」に基づき宇宙領域における能力強化を進めてきているところ。
- 令和 8 年度概算要求においては、衛星通信網の整備等として契約ベースで **約 1, 7 6 8 億円**、歳出ベースで **約 2, 2 9 9 億円** を計上

項 目	8 年度概算要求 (契約ベース)	8 年度概算要求 (歳出ベース)
衛星通信網の整備		
次期防衛通信衛星等の整備	約 9 0 3 億円	約 2 1 7 億円
多国間の衛星通信帯域共有枠組み対応器材等の整備	約 8 8 億円	約 1 2 億円
商用低軌道衛星通信器材等の整備	約 1 1 億円	約 1 0 億円
宇宙領域を活用した情報収集能力等の強化		
次世代防衛技術実証衛星の開発	約 6 9 億円	約 2 4 億円
画像解析用データの取得	約 2 4 2 億円	約 2 4 1 億円
宇宙領域把握（SDA）の強化		
衛星妨害状況把握装置の整備	約 1 2 億円	—
その他の宇宙政策に関する取組（上記以外）	約 4 4 4 億円	約 1, 7 9 4 億円
合 計	約 1, 7 6 8 億円	約 2, 2 9 9 億円

防衛省の令和8年度宇宙関連予算の概算要求について

1 衛星通信網の整備

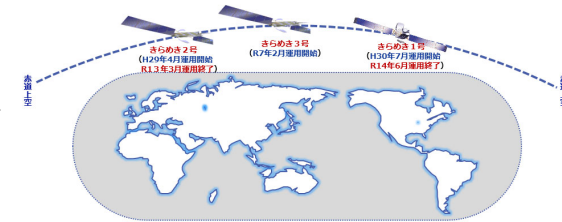
○ 次期防衛通信衛星等の整備

【契約ベース約903億円、歳出ベース約217億円】

現在運用中の防衛通信衛星(きらめき1号)の後継機の製造に着手するとともに、令和7年度から製造を開始するきらめき2号後継機の打上げに向けて、地上器材等を整備する。

※次期防衛通信衛星はPAT Sに対応予定

- ・ 次期防衛通信衛星(1号後継機)の製造
- ・ 地上器材等の整備
- ・ 衛星間光通信機器(2号後継機用)の取得



○ 多国間の衛星通信帯域共有枠組み(P A T S※)対応器材等の整備

【契約ベース約88億円、歳出ベース約12億円】

P A T Sへの参加に合わせ、これに接続可能かつ次期防衛通信衛星に対応した衛星通信器材を整備する。

※ P A T S : Protected Anti-Jam Tactical SATCOM

○ 商用低軌道衛星通信器材等の整備

【契約ベース約11億円、歳出ベース約10億円】

所要の衛星通信帯域を確保するため、水上艦艇において業務用通信の補完として利用する商用低軌道衛星通信に必要な器材等の装備及び利用する。

- ・ 令和7年度までに練習艦2隻を含む72隻分に必要な経費を計上
- ・ 令和8年度は14隻分に必要な経費を計上
- ・ 令和10年度までに主要艦艇への搭載を完了させる見込み



練習艦「かしま」への
衛星通信器材装備状況

防衛省の令和 8 年度宇宙関連予算の概算要求について

2 宇宙領域を活用した情報収集能力等の強化

○ 次世代防衛技術実証衛星の開発

【契約ベース約 6 9 億円、歳出ベース約 2 4 億円】

衛星ミッション機器の高機能化に対応した熱制御技術や光通信などの次世代衛星に必要な技術の実証のための衛星を開発する。

○ 画像解析用データの取得

【契約ベース約 2 4 2 億円、歳出ベース約 2 4 1 億円】

周辺地域の情報収集のため、高解像度を有する民間衛星等による画像を取得する。

3 宇宙領域把握(SDA)の強化

○ 衛星妨害状況把握装置の整備

【契約ベース約 1 2 億円】

我が国の人工衛星に対する電磁妨害状況を把握する装置を取得する。



衛星妨害状況把握装置

4 宇宙領域における組織体制の強化

○ 航空宇宙自衛隊（仮称）への改編

○ 整備計画局参事官（宇宙担当）（仮称）の新設